

学年末考査が終わり1年のまとめの時期になりました。2月22日には学校保健委員会が行われ、本校の保健室利用状況や



検診結果、水質検査や教室の空気検査の結果などが報告され、学校医の先生方、キャンパスカウンセラー、PTA 役員の方々からご意見を頂戴しました。保健室利用は若干増えており、生徒の観察の必要性を改めて感じました。検診時の服装など今問題になっている点についての配慮など今後気をつけていかねばならないことなどご指摘いただいたことを改善しつつ、生徒の安全・健康を守っていかねばならないことを実感しました。お忙しい中、ご意見をいただきありがとうございます。

2月23日からの3連休中には生徒たちは学習のまとめで大変だったと思いますが、私の方は天気の良いときに公園を散策。生まれて初めてメジロを観察することができました。綺麗な鶯色をしており、梅の木で何かをついばお姿がかわいらしく感動しました。よく勘違いされるウグイスは鶯色ではなく、若干茶色がかった色をしておりなかなか鳴いている姿を見ることはできません。春らしくなってくると鳴く練習を始め綺麗な声で「ホーホケキョ」と鳴き始めます。まもなく鳴く練習が始まるのではないのでしょうか…。時折寒い日がありますが、季節は確実に春に向かっていきます。体調管理には気をつけていきましょう。

2月26日には防災教育副読本改訂検討委員会があり、小学校低学年用の「あすにいきる」デジタルブックの最終確認の会がありました。構成も良く、デジタル教材では高校の放送部がアナウンスを入れており、動画も見られる内容になっていました。目と耳で確認できる内容で素晴らしい仕上がりでした。最終的には全国的にも県教委のHPから見るができるようになるということで防災教育の進め方の参考になると思います。次年度以降順次中学校、高等学校教材の改訂を進めていくようですので、とても楽しみです。また委員の中には、大阪万博に向けて世界にも発信すべきとの意見もありました。世界ではさほど災害対策は進んでいないようで、地震だけでなく、温暖化により自然災害が世界各地で起こっていることを考えるとこのように優れた教材を世界に発信することは必要だと思いました。

そして2月27日には複数志願選抜の願書受付が終了し、本校は190名の定員に対して270名の出願がありました。関心を持って受検を考えていただいた方の多さに身の引き締まる思いです。(志願変更を経て3月1日に確定しました《269名》。)いよいよ51回生の受け入れ準備が進んでいきます。2月27日には、学校評議員会が行われ、学校評議員の先生方に来ていただき、ご意見を頂戴しました。本校の報告をさせていただく中で、生徒の学習への取組についての課題、総合的な探究の時間についての組織的な取組について、ICT活用について本校の取組が遅れていると思われる部分についてのご指摘がありました。その中で、その時点での複数志願選抜の出願倍率が近年での最高倍率となっていることは良い情報だというご意見もありました。先日の推薦入試、特色選抜と合わせ、志願者が多いということの責任をしっかりと感じて、いただいたご意見を学校運営に反映させていきたいと思っております。学校評議員の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

2月28日。期末考査最終日。加えて3年生が久しぶりに登校してきました。同窓会入会式、記念品贈呈式、卒業式予行と卒業式に向けた準備をしました。迎えた29日。天気の方も何とか持ちこたえ、大矢同窓会長、小田 PTA 会長を来賓として迎え、厳かに始まりました。

私の式辞は、別に掲載してありますのでそちらをご覧ください。答辞を読み上げた松本航海さんは、しっかりとはっきりした言葉で感謝の気持ちを私たちだけでなく、家族の皆様に向けても伝え、舞子高校での経験が答辞を聞きながら思い浮かんでくるようでした。高校時代の思いを語ってくれた素晴らしい答辞でした。校歌も十分には練習できていない中、大きな声が響き、式典を締めくくりました。3年間新型コロナに振り回されながらも懸命に高校生活を送った皆さん。どうか体に気をつけて自分たちらしく、明るく頑張ってください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

1・2年生は昨日、学年末考査が終了し、次の学年に向けた準備がスタートします。新学期が始まるまでのこの期間はとても重要です。ホッと気を抜かず、学習だけでなく、部活動の方もこの冬のまとめをしっかりと目標とするところに向かって整えていってください。

